

# 施工説明書

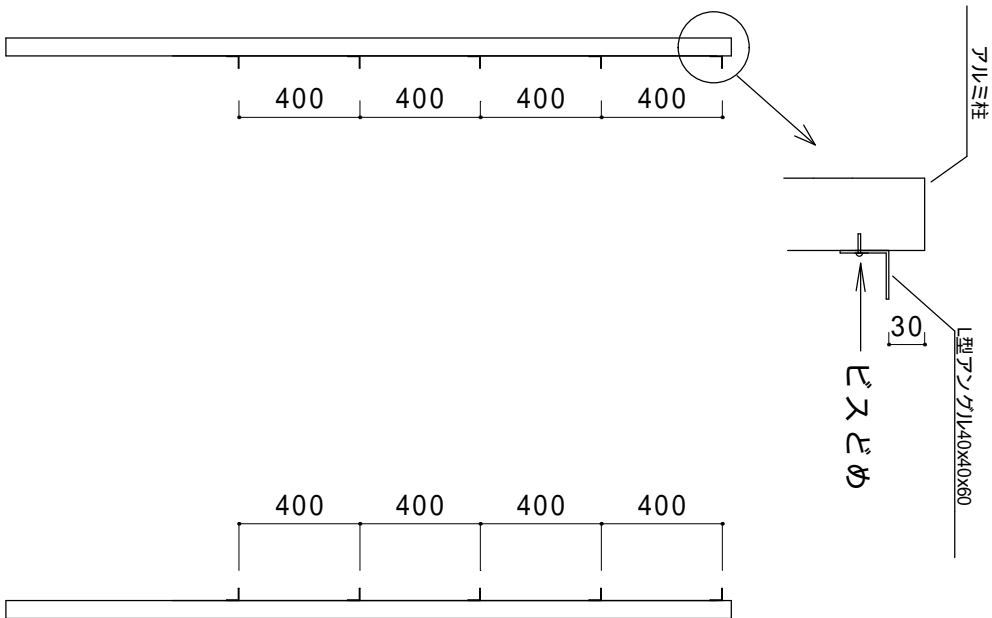
建仁寺垣 柱を見せないタイプ 両面

株式会社エクスタイル

H=1800の場合 (茶竹仕様の場合、ピスはすべて茶色を使用します)

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533

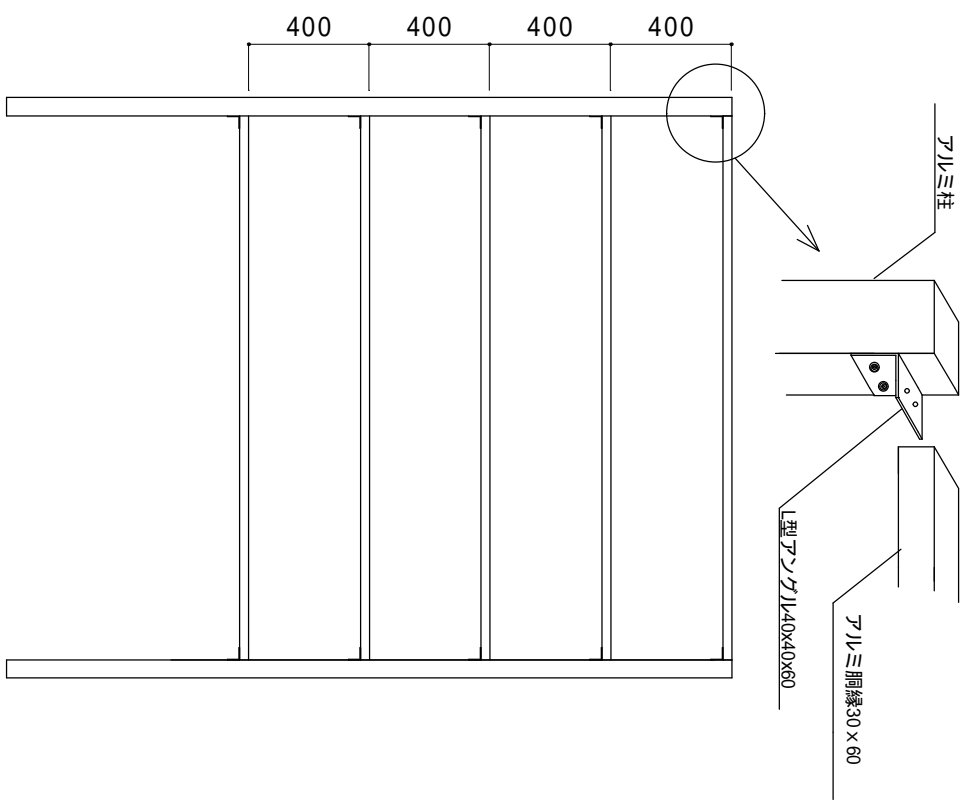


アルミ柱にL型アンゲルを取り付ける。

アルミ柱の上面から30mmさがった所にL型アンゲルを取り付けます。H=1800の場合、標準5胴縁ですので柱の片側に5個のL型アンゲルをビスどめします。

(H=600は胴縁2段、H=900・1200は胴縁3段、H=1500は胴縁4段になります。)

4×16(茶)ビス使用



L型アンゲルにアルミ胴縁30×60を取り付ける。

L型アンゲル1個につき2本のビスで胴縁をとめます。

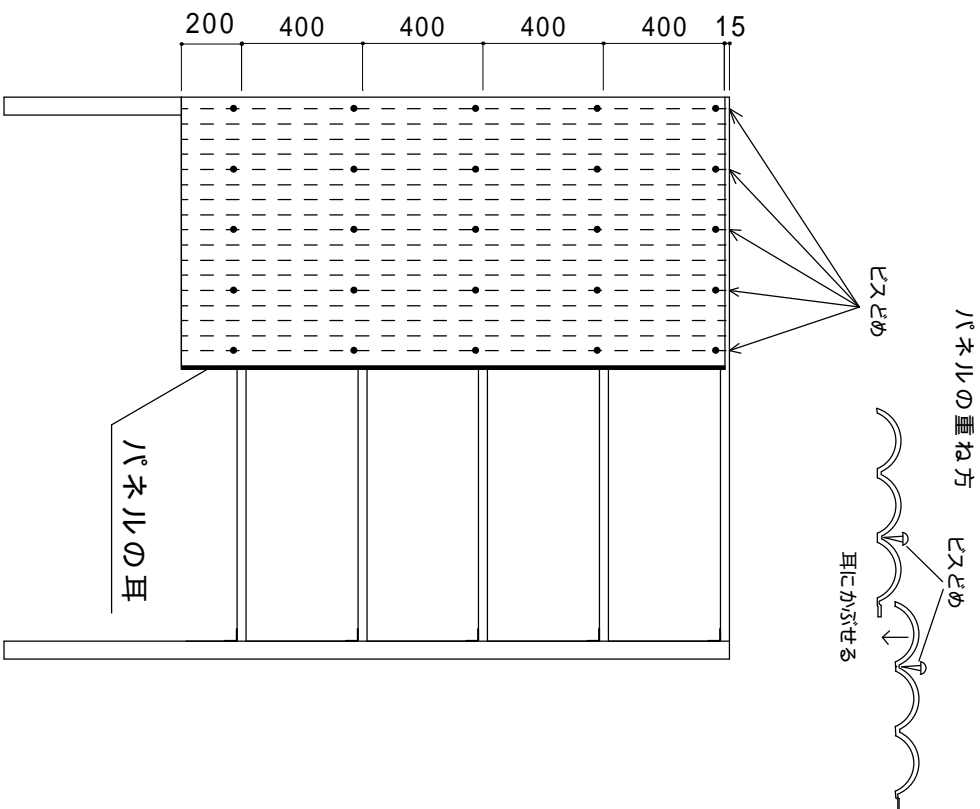
4×16(茶)ビス使用

注：アルミ胴縁と柱の間に隙間が出来ないようにビスどめして下さい。

# 施工説明書

建仁寺垣 柱を見せないタイプ 両面  
H=1800の場合 (茶竹仕様の場合、ピスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル  
施工に関するお問合せは  
TEL 0776-38-2533

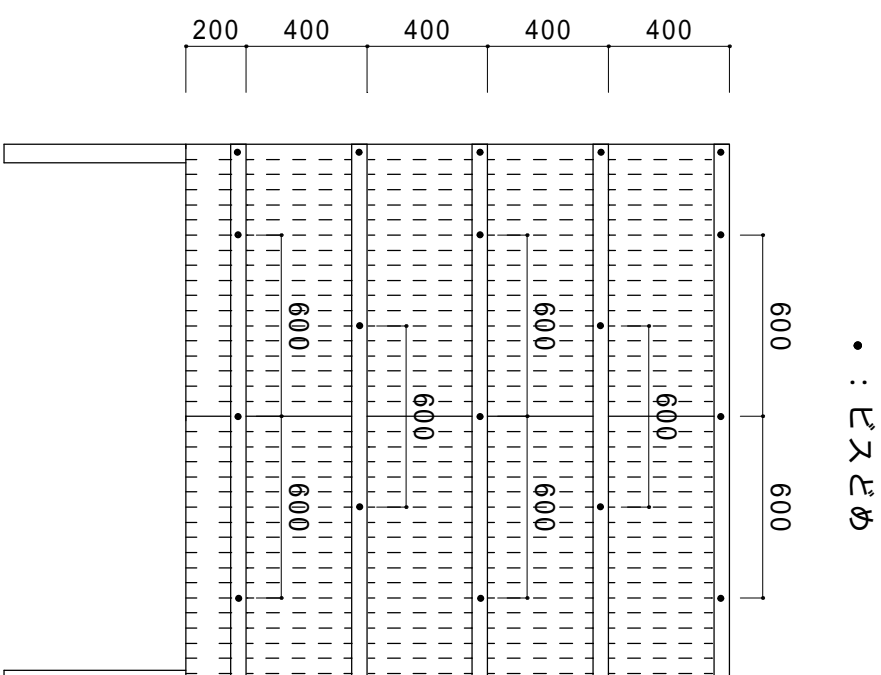


## アルミ胴縁に建仁寺パネルを取り付ける。

図のように、左側からパネルを取り付ける場合、パネルの耳が右側に来るように取り付けます。アルミ胴縁の上面から15mm下げてビスどめして下さい。裏側も同じ様に15mm下げてパネルを取り付けて下さい。2枚目のパネルの耳はカッターナイフで切り落としてから取り付けてください。ビスどめの位置は横一列に5ヶ所が標準です。

パネル1枚につき、4x16(黄)ピスを25本使用します。

4x16(黄)ピス使用



## 割竹50を取り付ける

パネルの上から割り竹50をビスどめします。ピスの位置は600mm間隔が標準です。裏側も同じように割り竹50を取り付けて下さい。

4x40(黄)ピス使用

注：割り竹50の両端は、必ずビスどめして下さい。

# 施工説明書

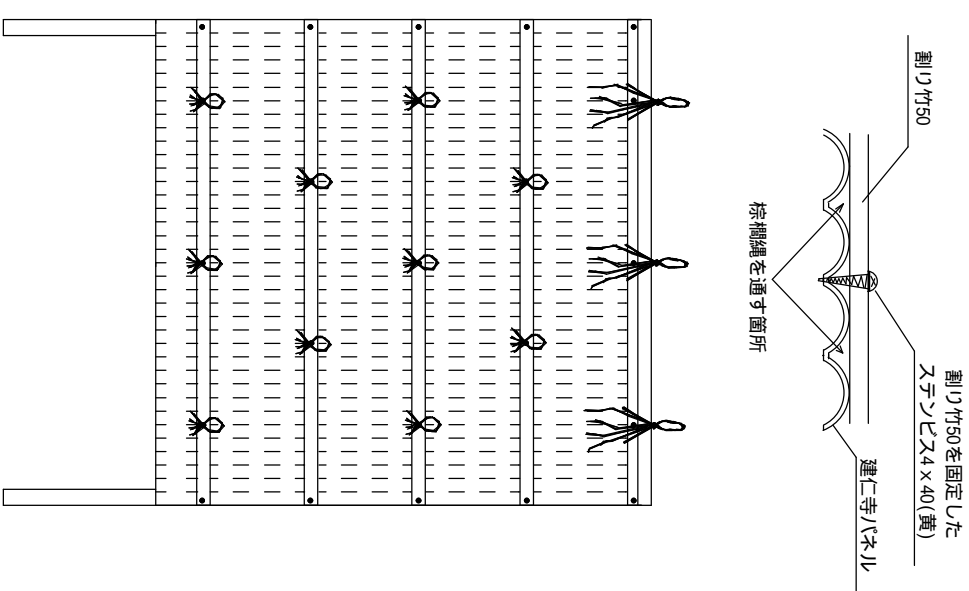
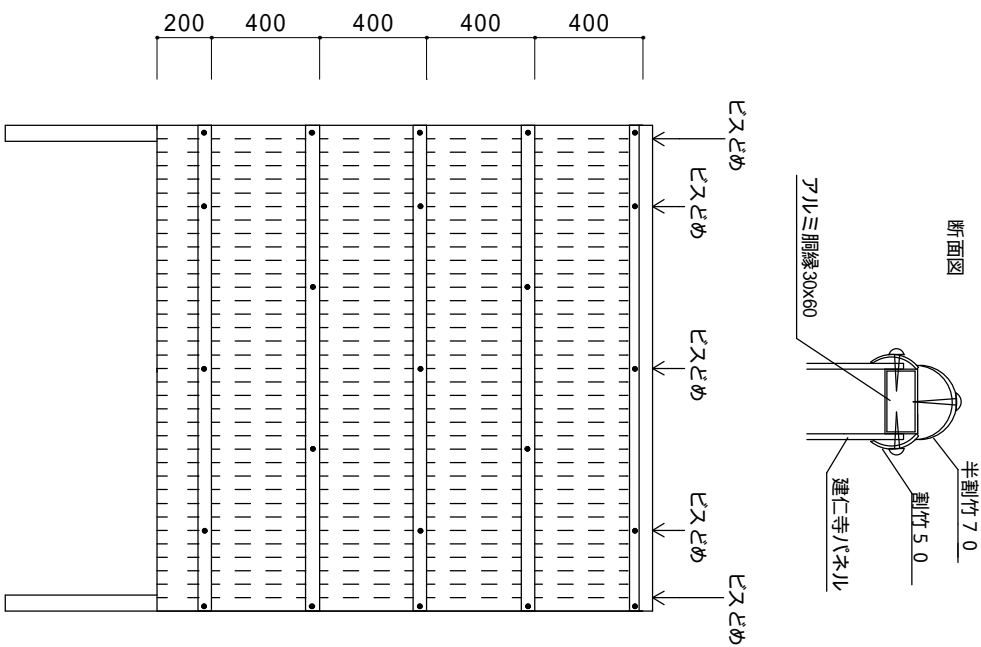
## 建仁寺垣 柱を見せないタイプ 両面

H=1800の場合 (茶竹仕様の場合、ピスはすべて茶色を使用します)

## 株式会社エクススタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533



### 最上部に半割竹70を取り付ける

ピスどめ位置は、最上部の割竹50のピスどめ位置と同じ位置です。

下穴をあけてからピスどめします。

4×50(黄)ピス使用

### 人工棕櫚縄で縛る

割竹50を固定したピスの上から化粧結びをします。

最上部はパネルに8mmほどの穴をあけ、その穴に棕櫚縄を通して結びます。

人工棕櫚縄の切り口は、パーナー等で少し熱を加えるとほづれが防止できます。

最後に柱キャップをして完成です。

棕櫚縄の結び方は、別紙参照